

1月城南だより

令和7年12月25日(木)
東京都立城南特別支援学校長
濱野 建児

<新しい年に向けて>

校長 濱野 建児

今年度の学校評価について、御協力ありがとうございました。保護者アンケート回収率は、100%でした。ほとんどの項目が90%以上の肯定的な評価をいただくことができました。その中で、「学習におけるICT機器の活用」の項目のみ80%台でした。本校は、東京都教育委員会の研究指定校として、次の2つ「学習者用デジタル教科書・デジタル教材を用いた指導方法の改善事業」「準ずる教育課程におけるデジタルを活用した他校との共同学習」の推進校となり、東京都においても先進的なデジタルを活用した指導を行っています。準ずる教育課程の児童・生徒の保護者への理解は深まっていますが、多くの保護者への理解が十分でないことが分かりました。学校評価を基に、ICT機器を活用した指導方法について、保護者に十分な理解を得られるようにしていきます。

令和8年(2026年)の干支は、「午(うま)」です。一般的に「馬」という動物が象徴として使われます。「午」の漢字は、もともと時間を表し、「午前」「午後」の由来と言われています。午(うま)は、飛躍、前進、達成、陽気、情熱などの象徴とされています。新しい年に向け、教職員一丸となり活動的かつ前向きなエネルギーで進んでいきます。皆様の一年が良い年となるよう願っています。

<高等部> 「星の王子さま」観劇

高等部

12月12日(金)劇団「風」による「星の王子さま」を観劇しました。文化庁の複数年ユニバーサル公演の取り組みで、今年度が最後の演劇鑑賞でした。いつもの体育館が、全く違う空間の劇場となり、劇が始まると会場みんなは、一気に劇の中に引き込まれていきました。

今年度は地理学者を濱野校長先生、呑み助を土田先生が演じて会場を沸かせました。3年生は一幕の終わりに舞台上上がって、「ぼくの旅はつづく」を手話も添えて歌いました。スポットライトを浴びてみんなとても素敵でした。そして、2幕の終わりには高等部生徒全員が舞台上がりました。劇団の方も一緒に、全員でフィナーレを盛り上げました。

御希望のあった保護者の方も観劇されました。日頃では経験できない、貴重な時間を、一緒に楽しみました。



<研究> 今年度の研究活動と校内研究会

研究部

今年度から3年計画で「デジタル教材集」の作成を進めています。授業で使う教材・教具選びに困ったときのヒント集となることを研究の目的としています。教材集は、アプリ上で登録・管理します。授業の目標に沿った教材・教具が見付けやすいよう、特別支援学校の学習指導要領「自立活動」に示されている6区分27項目を活用して分類しています。学部・教科・目標とする項目を選べば、検索をすることが可能です。登録された教材・教具は、外部専門員の先生方にアドバイスをもらいながら、また教員同士でアイデアを出し合いながら作成した教材・教具ばかりです。来年、



再来年と教材集に新たに登録数を増やすとともに、登録された教材・教具を活用した場合には、活用した事例を追記することで、実践に生かしやすい教材集を目指します。2月には、今年度登録した教材・教具の展示会を校内研究会として行う予定です。実際に見て、触れて、体験して、教員同士の知識の共有を行う予定です。